

会報

みどりのひろば

発行

第47号

令和5年3月

令和5年3月現在

356団体

公園緑地愛護会報 / 前橋市公園緑地愛護会連合会

前橋市公園管理事務所

前橋市六供町 1420

TEL 225-2116

FAX 225-2117



新年のご挨拶

会長 生方 盛夫

新年明けましておめでとうございます。
います。

皆様には健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、日頃から愛護会活動にご支援、ご協力を賜り心から御礼申し上げます。

さて、昨年2月24日にロシアがウクライナに軍事進攻という信じられないニュースが世界中に流れました。その戦争が激しさを増して、10か月を超える長期戦となっておりま。

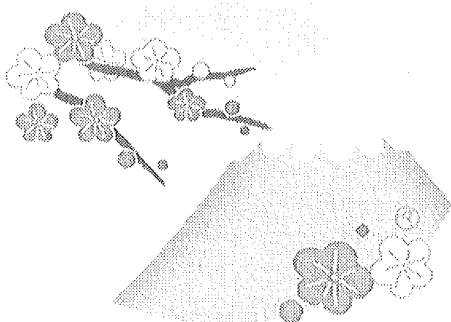
その影響で、エネルギー輸出国であるロシアから原油や天然ガスの供給が滞ることへの懸念から世界的に価格が高騰しています。日本でもその影響を避けられない事態になっており、エネルギーや食品を中心に生活必需品などが軒並み20%〜30%と値上がりして

おります。誰一人として望まない戦争が1日も早く終戦することを願うばかりです。

話を会に戻しますが、連合会としましては、7月に書面決議による定期総会に於いて任期満了に伴う役員改選が行われ新役員が選出され、引続き会長として重責をお引き受けすることとなりました。新役員体制のもと、会員皆様のご支援をいただきながら、実のある愛護会活動の推進を図る所存であります。よろしくお願い申し上げます。楽しい事業の1つであります。観察研修につきましては、今年度も新型コロナウイルス感染を考慮し、残念ながら中止となりました。新年度では、親睦が深められる研修などの行事が実施できることを願っております。

結びに連合会へのご協力に感謝

し、各愛護会の発展と会員皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。まして新年の挨拶といたします。



自然との関わり

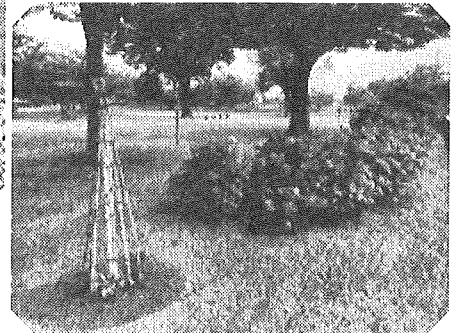
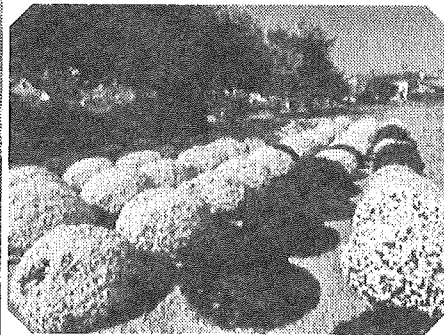
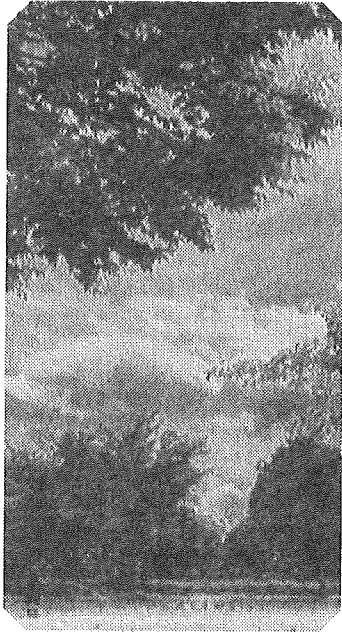
片原公園愛護会

会長 田子 由紀子

今年度より愛護会に関わるようになり、様々な学びがありました。まず、太陽はとても大事なことです。とても広い公園なので、どこに何を植えたらどのような育つか、そのような実験から始めました。四月、朝顔の種を植え、南・西・北の三か所に支柱を立て、苗を育て始めました。やはり太陽が当たる場所とそうでない場所は、育ち方が歴然と違いました。『日が当たる』ということは、大事なんだと実感しました。次に植物の力はすごい！と思いました。小菊を育てていますが、最初はほんの十センチの挿し木から、今では真ん丸の、小さな菊の大きな集合体となっています。

もうすぐ一年が経過しますが、この時期は草刈りが主な作業、この時期は落ち葉がいっぱい！など、季節の変化も楽しんでいます。地域の方にも、公園清掃を年何回かお手伝いいただき、愛護会役員

も日々の水くれや剪定、草刈りなど、役割分担しながら取り組んでいます。



緑のある花のある四季がある公園の構築

南町公園愛護会

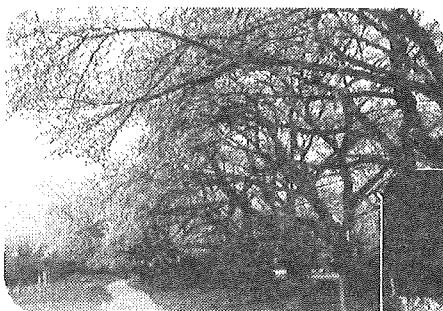
会長 持田 保

山。今年は、新たな試みも含めて盛沢

- ① チェンソーを購入して崖の部の雑木を伐採
- ② 公園緑地課の地域緑のまちづくり事業として、枝垂れ桜を植樹
- ③ 伊藤園とコラボでソメイヨシノを3本植樹
- ④ 3月下旬〜4月上旬の10日間桜祭りとして提灯を18時〜20時まで点灯、焼きまんじゅうとジュースを販売
- ⑤ 花壇を百合エリア、薔薇エリアの部分を構築
- ⑥ 町社協の一環として、車イスを使って公園内クイズでウォーキングラリー大会を実施

それ以外に例年通り毎月1回の清掃、2週に1回の芝刈り、むくの木広場の利用者による月1回の清掃、少年野球チーム、ソフトボールチームなどが別途清掃をしてい

ます。これから緑のある花のある四季がある公園の構築をめざしていきます。



桜まつりの様子



桜の植樹



ウォークラリーの様子

わが町いこいの 広場

ひよよん公園愛護会

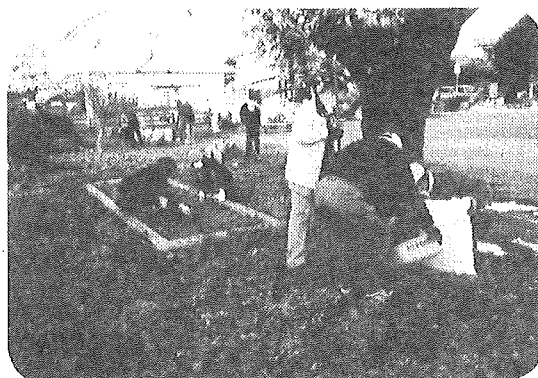
吉田 清

私たちの自治会では、春から初冬まで月1度、公園の清掃を町民の皆さん協力の下行っています。

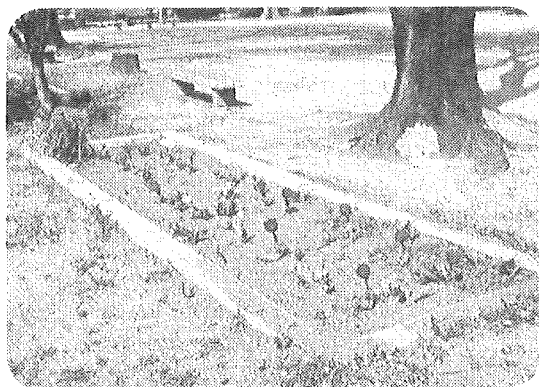
また、年に数回地域小学校児童の清掃協力があります。児童の皆さん、ありがとうございます。



春には桜の花が、花壇や周辺にはチューリップや色々な草花が人々の目を楽しませてくれます。夏場の雑草退治は大変です。一雨降れば一気に成長し、私たちを悩ませます。



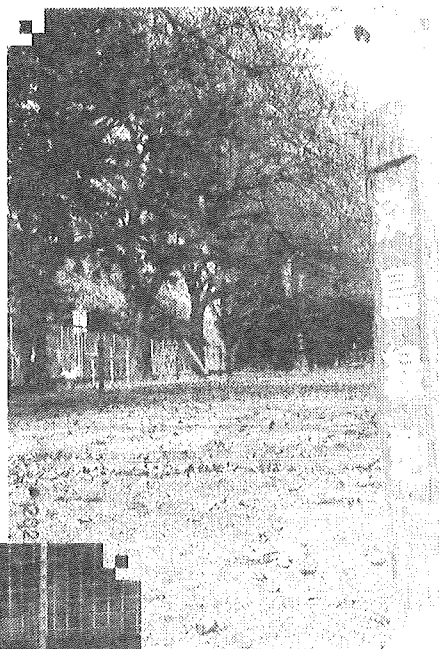
また、納涼祭や町内のお祭り、老人クラブのグランドゴルフなどに利用します。遊具もブランコや縄跳びなど子どもたちの遊び場です。



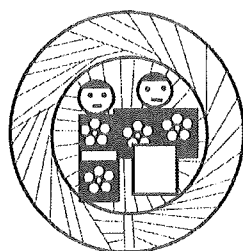
淡島緑地愛護会

会長 清水 政幸

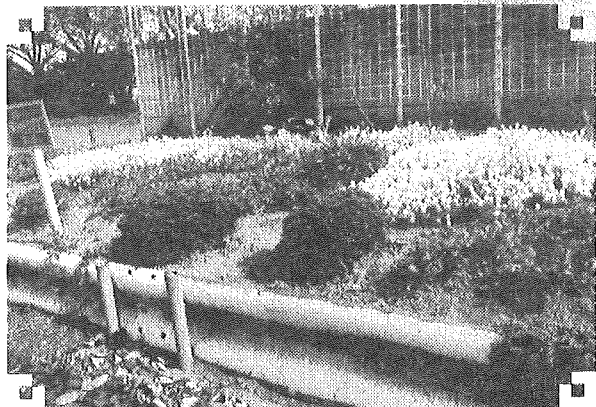
淡島緑地は、上青梨子町にある淡嶋神社の隣にあり、西側の道路に面して六本の桜の大木が緑地全体を覆い、春には花びらの絨毯が敷かれ、秋には落ち葉の布団に覆われます。



淡島緑地は地区の伝統行事の会場としても利用しています。春の雛流し、夏の納涼祭、盆踊り、秋の祭り、（樽みこし、百万遍）などそれぞれの行事の前には清掃活動を実施しています。隣接する花壇には四季折々の草花が咲いて、訪れる人を楽しませてくれます。



秋の清掃も大変です。園内を埋め尽くす落ち葉の処理。それでも綺麗になった花壇に、配布されたチューリップの球根を、丁寧に植え込みました。春の開花が楽しみです。皆が楽しめる広場を目指します。



下川淵アナベルの里を目指して

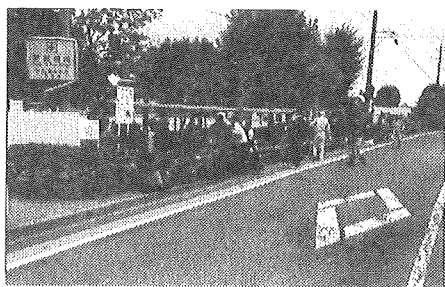
アナベルの里づくり

愛護会

持田 みね子

大人も子どももアナベル咲く景色が、心のよりどころとなるような地域を目指して活動6年目。少しづつ広がりを見せています。今年は地域に、一校の下川淵小学校の南道路に、100本の苗木を植えました。地域活動に携わっている人たちがボランティアを募集し、植え込み作業が実施されました。

昨年までに植えたアナベルが6月中旬には真っ白な花をつけ、初



夏の暑さに爽やかさを演出してくれていました。ところが6月の下旬の異

常な暑さと熱波で、

折角のアナベルの

白い大輪が茶色に変色し、

見るも無残な状況

になってしまいました。さらに、丹精こめたアナベルが渴ぎで枯れてしまい



そうになり、夕立雨が来てくれればと願うばかりでした。しかし一向に雨の気配はなく、2000のタンクを軽トラに付けて陽が落ちてから数日間、水やりに奮闘しましたが、やはり十数本枯れてしまいました。植物は天候に左右され、道路や公園に植えられたものは、家の庭のように管理が行き届かない面も多々あります。植えれば終わりではないことを改めて感じました。除草や施肥等々を地域の力で継続してゆくことを切に思いました。

安全安心な公園を目指して

横手わせた緑地公園

愛護会

会長 永井 敏夫

下川淵地区にあります「横手わせた緑地公園愛護会」は、同地区内にある十三団体二七六名で組織され、平成十八年に発足依頼、北関東自動車道の脇にある「横手わせた緑地公園」の維持を行っています。

令和四年度は、同公園をさらに安全で安心して利用できるようにすることを目的に、公園を内外から見渡せることを重点に周囲の生垣と立木の剪定を行い、軽トラックで十一台分の枝を整理しました。

また、年度当初には、同公園内にある子ども遊具等の設備点検を行い不具合なところを前橋市に修理してもらいました。このように、「横手わせた緑地公園」を利用される子ども達やその保護者の方々の安全・安心感の向上に努めました。

今後も、関係団体等の皆様のご理解とご協力をいただき、清潔で

気持ちよく、利用しやすい公園を目指して、しっかり活動を行っていききたいと思います。



みんなに

愛される広場

関根町めがね橋公園

会長 山村 智彦

今年度から、公園愛護会長となりました。

近所の親子が走り回ったり、設置してある遊具(ブランコ、すべり台、鉄棒)等を使って楽しく安心して遊べる広場、そして老若男女が集い気軽にしゃべりしたり軽スポーツ等が楽しめるような憩いの広場であってほしいと思います。

また、花を見ると気持ちが和むのではないかと思い、公園内に樹木とともに色々な花を咲かせようと思っています。

今は菊が盛りと咲いています。春にはポピー、チューリップが咲くよう種蒔き植えつけました。また、パンジーも植える予定です。

近隣の人たちとのつながりをより深くして、清掃等、美化活動も定期的に実施し「憩いの場」にしていきたいと思っています。



安全・安心の

公園を目指して

川端町公園愛護会

会長 金子 佳弘

公園を訪れる皆様方の安全、安心、そして利用しやすい公園にするために、愛護会は日夜活動を展開しています。癒しの場所だけではなく、住民の心のよりどころになるような存在が望ましいからです。

安全確保のため、遊具等の点検は入念に行います。水回りやトイレの点検も重要です。こどもたちの笑い声が泣き声にならないように細心の注意が必要です。

川端町公園は、駐車スペースを確保したので、マイクロバスで訪れる幼稚園児等が野外活動の場所としても利用しています。最近見かけるのが、車いすで公園内を散歩している光景です。これも、駐車スペースがあるからです。高齢者施設の利用も多く、楽しい笑い声を聞きたびに川端町公園の存在を再認識しております。

川端町公園は、地域住民はもとより、駐車スペースを生かして、多くの前橋市民の皆様が利用していただくことを願っております。

朝日台公園

愛護会

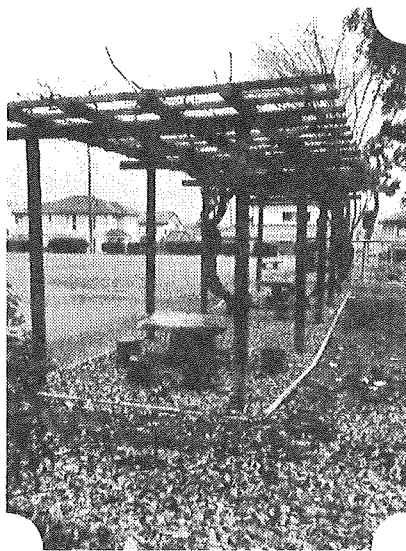
朝日台公園愛護会

副会長 伊賀 俊夫

朝日台公園は、大胡町東部に位置し、ブランコ、滑り台、藤棚等があり、子どもからお年寄りまで広く利用されています。

公園の清掃維持管理は、地域住民による年3回の草刈り、落ち葉かき、自治会役員による低木の剪定を年に数回行っています。

ほかに老人クラブがグランドゴルフの練習で利用しているため、清掃等に積極的に参加してくれています。公園は高木が多い墓地に隣接しており、公園内の落葉樹だけでなく、墓地からの落ち葉、枯れ枝等が大量に溜まります。老人クラブが毎週の練習日にこれらを



集めてくれます。

また、年2回老人クラブの定例行事として、花壇の花の植替え、チューリップ球根の掘り出し植え付け、藤棚、低木の剪定に協力していただき、公園の美化に欠かせない存在になっていきます。

今年は、藤棚下のテーブル、ベンチ、水飲み台等を気持ちよく利用してもらえよう、ペンキの塗り替えを行いました。



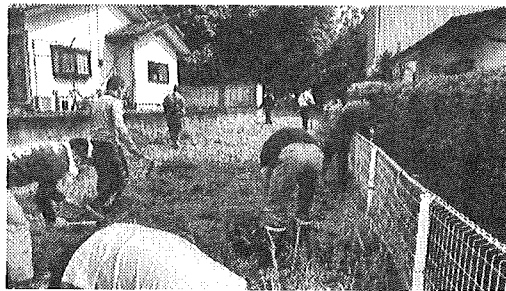
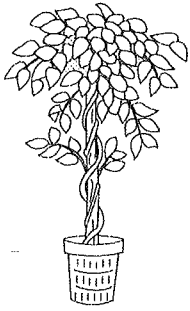
みんなが集う 公園を目指して

小神明町緑地愛護会

会長 塩野 保

小神明町公民館と芳賀西部工業団地に挟まれた緑豊かな緑地公園ですが、南北に細長く年間をとおして木々に覆われ、夏は木陰が多いため涼むには最適の場所です。

現在「コロナ禍」ですが、町内一斉の除草作業を六月と八月に実施している他、四月から十二月まで各曲輪の輪番制で毎月二回除草作業を実施し、維持管理を行っておりますが、今後の課題としては南北に遊歩道を設けると共に、休憩場所やトイレ、水飲み場の整備を整えることが待ち望まれるところです。長期的ではありませんが、一歩ずつ前に進めて将来町民の皆さんが気楽に集える楽しい緑地公園として整備していきたいと思っています。



除草剤と農薬の 危険性について

朝日町2号公園愛護会

会員 北爪 靖夫

町内の高齢化が進み、梅雨時から夏場にかけての公園清掃、特に除草が大変になり除草剤を使ったりとの話がよく出ます。但し除草剤は人間の健康面に危険を及ぼすという話をよく聞くので調べてみました。

除草剤の一つであるラウンドアップ(グリホサード)は、日本では最も安全、発ガン性なしで驚異の除草力との宣伝文句で、世界的にも出されていますが余剰分があふれかえっています。また、国内での使用でなくても耐性雑草・残留農薬摂取の問題で海外からの輸入小麦での製品のパンに残留がおきています。

更にネオニコチノイド(農薬)は、欧米は原則禁止になっていますが日本では野放しになっています。この農薬(浸透性あり)の、単位面積当たりの農薬使用量は、日本と韓国が1位、2位を分け合っている状況です。欧米

との差は約10倍〜15倍とのケタはずれで、自閉症と発達障害の有病率の国際比較でもやはり、日本、韓国が突出しているようです。これらを見ると子供の発達障害が急増している原因にネオニコチノイド(農薬)があると思えます。1993年には1万2259件だったものが、2011年には8万3750件になっています。20年ほどで約7倍増しの勢いです(文部省調査報告)。お茶と果物が大好きな人々が原因不明の頭痛やしびれ等がおき、医者から10日程度お茶や果物を休止したらといわれ、実施した結果上記浸透性農薬から解放され治ってしまったそうです。

いろいろ調べましたが除草剤等には弊害が多いため、朝日町4丁目では可能なかぎり除草剤等の使用は控えていきたいと考えています。



上小出町やなば公園愛護会活動について

やなば公園愛護会

会長 中村 和行

私が会長を引き継いでから二年目となります。私たちの公園では、毎年四月～九月にかけて、五回ほど近隣の住民たちに参加していただき、除草作業をしています。早朝六時からという時間にもかかわらず、毎回百人前後参加されています。(参加できない人は、出足金千円を負担してもらっています)春から夏にかけては、草との闘いですが、秋から冬は落ち葉との闘いになります。落ち葉は毎週ゴミの回収日に合わせて片づけをしており、かなりの負担になっています。また、花壇がありますので、いただいた球根や購入した花を植え、彩りを添えています。更に、公園の周囲は生垣になっていますので、刈込作業もやっています。

毎日公園の周りを通っています。が、飲食した後の空き缶、ペットボトル等のゴミが捨てられたり、ゴミ集積場のルール違反ゴミが頭痛の種です。これからも、綺麗な公園をめざし、努めて行きたいと思っています。

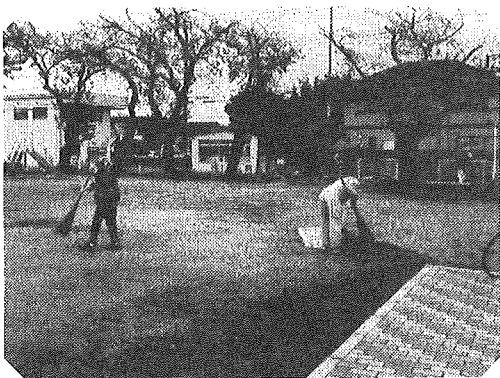


かねづか公園愛護会

会長 市川 トヨ子

令和四年、四月から私が管理することになりました。十月までの七か月を長寿会の皆様と公園清掃し、十一月からの五か月はゲートボール愛護会の皆様と清掃しています。これからもよろしくお願いいたします。

コロナ対策は、マスク、人と人との間隔を広くとり、皆様と協力し合いがんばっています。



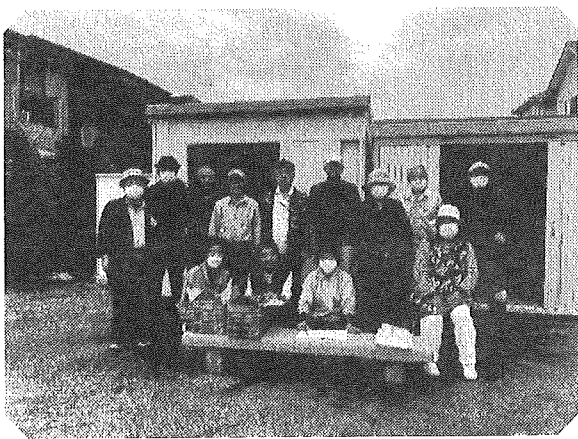
公園愛護会会員となつて

コスモス公園愛護会

会長 関口 高之

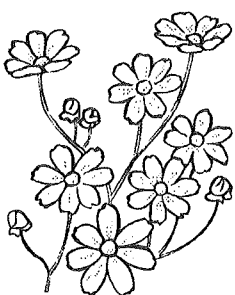
四月より上小出町コスモス公園愛護会の会長となり、前橋市や自治会など多くの人に支えてもらいながらの活動であることを知り、責任の重さを感じました。

愛護会員となると、他の公園の状況が気になり、色々な場所を見学しましたが、どの公園も隅々まで綺麗にしてあり、公園の管理が



行き届いていると感じられました。しかし、どの公園も夏は草だらけとなり、学校の校庭も夏休み中は草が茂る所もある事が解りました。

私の管理するコスモス公園は東西に細長く、藤棚を挟み東側が遊具エリアで西側がグラウンドエリアでバスケットゴールもあります。結構広く、とにかく草退治が大変でしたが、公園清掃の勇士が数人出来、グラウンドは鉄板引き、周りは草刈、樹木の剪定、花壇の手入れなどを行い、年5回の全体清掃で「上小出町中で一番きれいな公園」と言われるほどになりました。遊具で遊んだり、バスケットやサッカー、野球など多くの人が使っているのを見て、地域のコミュニティの場として大切にしたいと思っています。



愛護会活動と地域の環境美化

東ローズタウン公園

愛護会

会長 黒岩 清源

私たちの地域では、愛護会活動として公園、街路樹の植え込み、インターロッキング等で除草・清掃・美化の活動をしています。また、以前に報告したように当地には1周500mの調整池があり、さらに住宅から学校に向かう通学路や未整備の歩道など安全・安心面から除草が欠かせない領域が周

辺にあり、それらも含めて環境美化を実現していくことが課題となっています。

昨年にかけてはコロナ禍のために活動が制約される状況がありましたが、以下のような取り組みで改善・効率化を進めています。

- ・ 愛護会活動は夏場を中心（5月から10月）に全世帯参加で行う
- ・ 調整池除草を愛護会活動日と同期して行う

- ・ 草刈機（乗用式、刈込式）を導入する
- ・ 人手作業と機械化作業を適材適所に割り当てる
- ・ ボランティア協力者の参加を募り、環境美化委員と連携して作業にあたる

まだ、取り組みの途上にありますが、従来からの愛護会活動を環境美化の各となる活動として位置づけてこれらを推進していきたいと思っています。

雷電公園愛護会

小林 芳弘

令和4年度は、当初コロナも下火になり、ようやく公園美化活動も従来通りに戻れるかと思われましたが夏の再感染拡大と猛暑により清掃作業も縮小せざるを得ませんでした。対策として草刈機を使い除草を行ったところ、作業軽減の効果があり、今後も継続できたらと考えております。市に依頼した、成長しすぎた立木の伐採剪定等により、見通し良く防犯・害虫など改善されました。

少子高齢化が進んでおり、園内設備は老人にも利用できる遊具が必要かと思っています。

公園除草も負担になりつつあります。市公園管理事務所として、中小公園の対策の明確な指針を出していただければありがたいです。

公園に集う！

いなば中央公園愛護会

会長 水野 渉

少子高齢化が進み、新型コロナウイルス感染症の追い打ちで地域住民同士の交流が希薄になってからもう3年！地域が弱体化している現状を活性させることが急務であり、コロナ後のまちづくりが必要ではないでしょうか。

その中で、地域の資産である町

「パーク・クラブハウス構想」

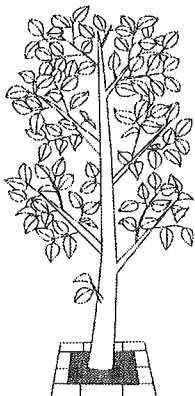
の公園の役割は重要であり、どう活かしていくかが今後の課題であると思っています。

コロナ禍でも公園は感染リスクが低く、親子連れから高齢者までが各々利用しています。しかし、利用の仕方は点（個人）の利用が多く、面（交流）までにはなかなかありません。

そこで、クラブハウスのような建物（コンテナハウス）を活用し

て多世代のつながりを生み出す方法を、自治会や各団体と一緒に考えてみればと思います。

「イツデモ・ダレカト・ツナガレル」（ひだまりサロン）こんなものを、整備するのはどうでしょうか？夢ですかね！。



地域の憩いの場

九十九山

運動公園

富士見町原西運動公園

愛護会

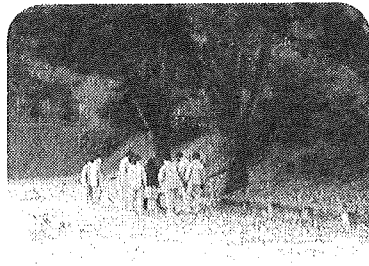
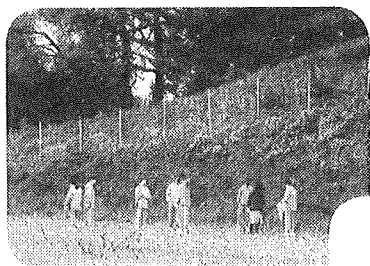
会長 船津 秀俊

原西地区のほぼ中央に標高一七二mの九十九山があります。山頂には古墳があり、里山の景観と自然を残しています。運動公園は、その一画を造成したもので、遊具が置かれたミニ広場があり、地元では「九十九山グラウンド」と呼んでいます。グラウンドゴルフに興じる長寿会の皆さん、サッカーや野球の練習に励む子どもたち。遊具で遊ぶ親子、散歩やハイキングのお年寄りや保育園児、自然観察の親子等。四季折々、住民をはじめ多くの人々が休日や余暇を楽しんでいます。この一帯の美化運動は、公園愛護として行うグラウンド整備や草刈りとともに、長寿会、育成会、ボランティア団体、地元中学生など多くの住民が協力して、草刈り落葉清掃、花壇の手入れ、遊具のペンキ塗り、山林整備、ゴミ拾い等、原西区民関係者皆で

この憩いの場を守っていききたいと思っています。

前橋市公式YouTubeにて、富士見公民館が「ふじみかるためぐり」として九十九山を紹介しています。ぜひご覧になってみてください。

地元中学生による
ゴミ拾いの風景



愛される「ポランの広場」に

中島ポランの広場愛護会

副会長 奈良 望

昼下がりの公園を歩く、その高齢のご婦人とは、すっかり顔馴染みになった。

「こんにちは。今日もお散歩ですか。」

「はい。散歩中に公園に来るところしてお話もできるしね。」

このご婦人のように、毎日通って来られては、顔を合やす私たちとの声かけを喜びとして下さる方がいる。また、放課後や休日の遊び場として、身近な公園は、子どもたちの大切な居場所でもある。

時には、園内の四阿（あずまや）に場所をとり、幼子を見守りながらの育児談義……。マスク越しの語らいに、笑みのこぼれる若いママたちもまた公園の常連だ。

おやつ、勤務途中かな……。暫しの休憩に一服する紳士（吸い殻の片づけはお願いしますよ）の姿もお見かけする。さあ、もうひと頑張りですね。

決して多くの利用者が訪れる公

園ではないけれど、こうして誰もが立ち寄れて、思い思いに自分の時間を過ごせる場としての公園の役割に改めて気づかされる。

この段差では、お年寄りが躓くのではないかと……。子どもたちが健やかに遊べるように、除草剤の散布は控えよう……。と苦慮もし、細やかな心遣いが為されている公園であるかどうか。「ポランの広場」の名に相応しい、理想の公園、愛される公園への大切な状経緯であろうと私たちは考える。

これからも、地味ながら気持ちのこもった活動に努めたいと思う。



地域に愛され続ける 公園であるために

文一松前公園愛護会

角田 淑江

松前公園は市内の街区公園の中でも比較的広く、公園の樹木は街の景観に潤いを与えています。特に樹高が裕に十メートルを超えるような樹は風格を醸し出しています。



そんな

木々の下に配置された遊具で子どもたちが遊び、保護者が藤棚の下に集い情報交換する姿、キャッチボールやバスケットボールに興じる姿、グラウンドゴルフの仲間がプレーする姿など、幅広い年代の多くの地域住民に日常的に利用されています。

また、夏には高い櫓を組んで、にぎやかに夏祭りを開催する会場にもなります。残念ながら今年度もコロナ禍により開催は見送らざるを得ませんでしたが、地域の自主防災訓練を感染対策を講じながら実施するなど、自治会活動の拠点としても大いに活用されています。



その時に備えてきれいな公園に

駒形町自治会61組

組長 遠藤 康雄

下橋第二公園は、四月から九月まで六、七班が輪番制で除草作業を行いました。鎌と刈払機で一時間程で終了しました。この公園にはイチヨウとマテバシイの木があり、枝が道路にはみ出し、通行の妨げになるので切つて欲しいとの要望がありました。公園管理事務所に剪定を依頼し、後日実施して頂きました。この公園は、駒形町自主防災会の避難場所に指定されているので、常にきれいに維持、

管理されている必要があります。

下橋幼児公園は、二、三班が担当で、五月、七月、九月の三回除草作業を行いました。この公園にはブランコや砂場がありますが、今では遊ぶ子どもの姿は見かけません。しかし、防火水槽が設置されているので、いざというときにすぐ使用できるようにしておかなければなりません。両公園は、四十年以上前から毎年除草作業を実施しています。どちらも緊急時に重要な場所になっており、これからもずっと継続していきたいと思っています。

文一松前公園愛護会はこの公園をいつも安全で快適に利用していただけるよう、年間を通じた清掃活動を中心に活動しています。季節ごとに新緑や涼しい木陰、美しい紅葉で楽しませてくれる木々も、初冬には落ち葉で清掃をいつも以上にたいへんな作業にします。早朝、活動のため集まると、大量の落ち葉に圧倒されますが、

地域住民の憩いと交流の場として保ち、ふるさとの思い出の一端に刻んでもらえるような松前公園であり続けたいと思っています。



桜が丘公園

愛護会の活動

桜が丘公園愛護会

会長 西谷 泉

総社町の桜が丘公園の花壇について紹介します。桜が丘公園愛護会では、六川茂人さんを中心に男女合わせて17人のメンバーが公園の花壇のお世話をしています。年2回春と秋に全員が集まって植え替えなどを行い、普段は数名で手入れをしています。この活動を通してメンバー相互の良い交流の機会にもなっています。花壇の美しい花が地域の皆さんの気持ちを和ませてくれます。公園管理事務所で頂くチューリップも秋に植えて、綺麗に咲いてくれます。愛護



会のメンバーの地道な努力によって、桜が丘公園の美化が維持されています。



ふたたび

チビッコの声が

響くひろばに

荒牧町チビッコ広場

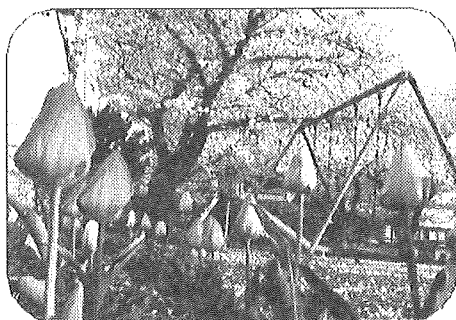
愛護会

会長 滝澤 廣明

この公園は、昭和三十年代に、労住協の住宅団地民間開発によって整備された小さな公園です。公園の正式名称は「荒牧団地公園」ですが、地元では、「チビッコ広場（公園）」と呼ばれ親しまれています。

かつては、この公園で青空のもとで、地域の総会やお花見がこなわれたと聞いています。

雲梯と滑り台が一緒になった遊



具や、二重円の砂場、ウサギ小屋などがあり、当時としては斬新で子どもたちに人気があったようです。

長い年月をへて、当時の子供たちは中高年になり、遊具も経年であちこち痛んでいましたが、昨年度までに、滑り台が更新され、砂場の砂の入れ替えや、フエンスも新しくなり、とても使いやしくなつて、再び、ちびっ子たちの声が響くようになり、公園担当部署の皆様には感謝しています。

課題としては、猫の問題、カラスの巣作り問題、落ち葉の問題など数々ありますが、毎月の一斉清掃日には近隣の交流の場となっています。愛護会と有志の方が毎日のように清掃を行っています。おかげでとてもきれいな状態が保たれています。



みんなの憩いとなる 公園を目指して

宗甫分公園愛護会

会長 高橋 徹

毎月第一日曜日に南部長寿会の皆様を中心に公園清掃をしています。草刈機を導入する事により容易になりました。

また、別の日に北公園と一緒に乗用型芝刈機を借りて広範囲部分の芝刈りを実施しました。

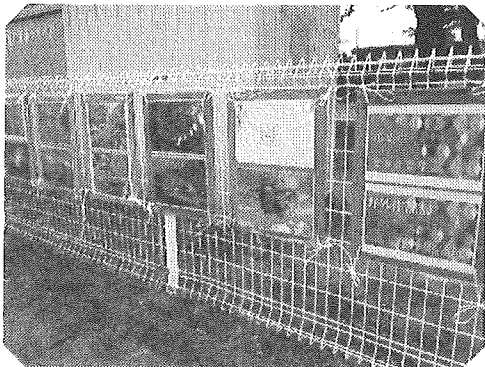
例年通りフェンスに野外作品展の展示を行うと共に3年ぶりに納涼祭を行う事ができました。皆様に喜んでいただき、商工会、自治会の皆様のご尽力に感謝です。

念願の花壇3箇所には、春と秋に季節の花を植えています。

公園管理事務所のお蔭で使用中止だった滑り台が新しく設置され子ども達が元気に楽しんでいます。

要望としては、古いトイレを弱者の使用が容易にできるバリアフリー化にしてほしいと切に望むものであります。

これが、今年の主な活動です。今後みんなの憩いとなる公園を目指して精進して行きます。



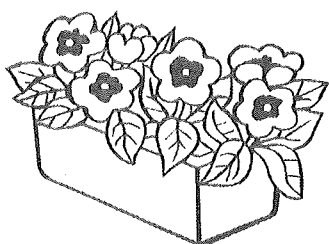
野外作品展



納涼祭

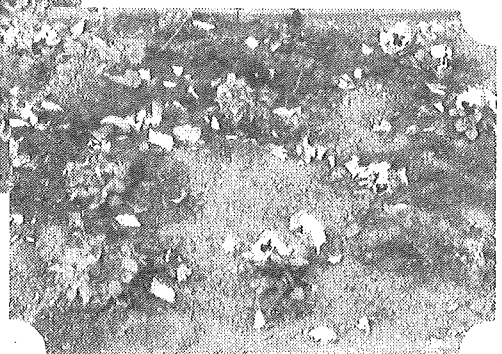


花壇作業の様子



広瀬二丁目第5区しいのみ公園の花壇は先日役員さんがパンジーを植えて整理し、公園管理事務所から頂いたチューリップの球根が埋めてあります。春先の開花が楽しみです。

公園は、交代で月に一度の草取りできれいになっています。心配なことは、外来植物で名前は分かりませんが根が竹に似ていて繁殖が強い草を何とかしたいと思っています。良い方法があれば教えてください。



しいのみ公園愛護会

会長 山口 民一

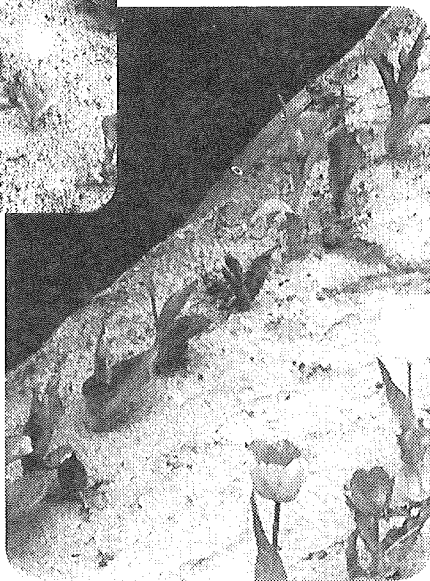
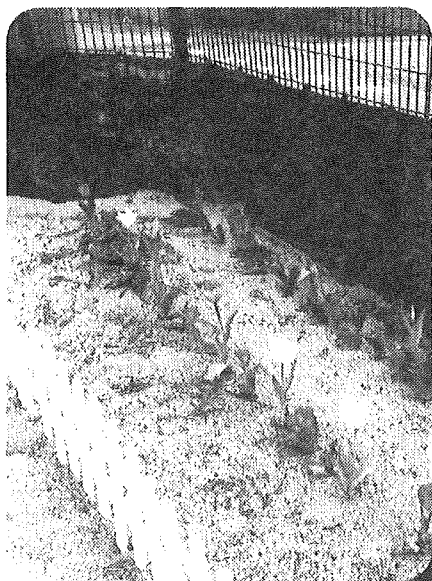
公園の花と雑草

原東ふるさと公園愛護会

会長 大谷 喜代次

我が原東ふるさと公園は、原東自主防災会避難場所に指定されており、日常住民の皆様には、安全安心して利用していただけるように自治会員全世帯33班を5組に分けて毎月、公園内の草取り地ならし清掃樹木の手入れを行っています。更に、コロナ感染症拡大で色々な行事もままならず、せめて元氣な皆さまの顔合わせも大切だと、ディスプレイをとりながら実施しています。

区内の保育園児達も保育士さん共々頻繁に利用して楽しげに元氣な声を響き渡らせて時間を過ごしている姿を目にします。また、土日家族連れや子どもたちがよく利用している姿を拝



見します。ルールを守っての利用を願うばかりですね。

昨年度、前橋市公園緑地愛護会連合会より配布されたチューリップが咲き、今年も連絡を受け、早速公園管理事務所に頂きに行き、11月13日の公園清掃日に班内のお子さん連れの親子に協力を得て、植え付けを手伝ってもらいました。来春がたのしみだね。〇〇ちゃんが植えたチューリップだねと言ってあげたいね！下手な植え方でも大丈夫かな？だって。大丈夫だ！



景観と周辺居住者との融合をめざして



宗甫分線街路樹愛護会

会長 持田 保

宗甫分線は、昭和45年から施行された前橋駅南口土地区画整理事業により南町二丁目北部の新しい幹線道路として整備され、前橋刑務所と明星幼稚園の横を通って南部大橋に抜けています。

高木として唐楓（トウカエデ）と低木としてさつき、つつじが植えられ、低木は年2回の剪定、高木は3年に1回の剪定をされています。



長年の経過により高木は大きくなり落ち葉も多く、電線や電話線突き抜け、低木の花もまばら咲き状態となっていました。

まずは、公園管理事務所の協力をいただき、低木の3か所を花が植えられるように整備し、日日草を1か所、サルビアを2か所に植樹。周辺住民の方々からも大変喜ばれています。

色々な問題が山積状態ですが、景観と周辺居住者との融合を目指して精進して参りたいと思っています。

新しい仲間

新設愛護会紹介

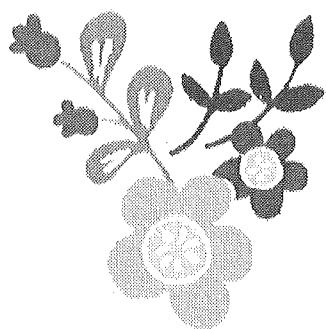
令和四年度前橋市公園緑地
愛護会連合会に加入しました。
よろしくお願いいたします。

(前号掲載以降)

令和四年度実績 一団体

宗甫分線街路樹愛護会

持田 保



四季の移ろいを感じられる 憩いの公園を目指して

南町二丁目北公園愛護会

会長 萩原 康男

例年通り毎月1回北長寿会の皆様と一緒に公園清掃で草刈機を使つて実施するとともに宗甫分公園と同じ日に乗用型芝刈機を借りて5月、7月、8月、10月の4回広範囲の芝刈りを行いました。

春と秋には、例年同様、花壇に花を植え替えて四季の移ろいを感じられるようにしています。

そして、野外作品展の展示を公園東側のフェンスに7月～11月まで行うと同時に、新たに5月15日町社協の一環として世代間交流を目的として輪投げゲーム大会が約50名の方々で行われて大盛況でした。

これから、公園緑地課の地域緑のまちづくり事業にて四季折々の香木を植樹する予定です。

これからも四季が感じられる公園になるよう精進していきます



輪投げ大会の様子



花壇の手入れ

編集後記:

はじめに会報「みどりのひろば」第四十七号を発行するにあたり、ご多忙の中、原稿や写真をお寄せくださいました方々に厚くお礼申し上げます。掲載の都合上、原文の一部を修正させていただきました事、ご提出いただいたすべての写真に掲載できなかった事をご容赦願います。

会員の皆様には、日ごろより公園、緑地、街路樹の維持管理・美化活動にご尽力いただき誠にありがとうございます。

原稿を読んでいると、どの愛護会も工夫を凝らしながら活動をしていただいたことがとても伝わってきました。この「みどりのひろば」でご紹介し、皆様と情報共有できれば幸いです。

今後も引き続き、地域住民に愛される公園、緑地、街路樹として、愛護活動にお力添えいただきますよう、よろしくお願いいたします。

